

運用報告書

第3期<決算日2011年10月12日>

DIAMコモディティパッシブ・ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 海外／その他資産（商品）（インデックス型）	
信託期間	信託期間は2009年1月30日から無期限です。	
運用方針	海外の代表的な商品指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。	
主要運用対象	DIAMコモディティパッシブ・ファンド	コモディティインデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	コモディティインデックス・マザーファンド	S&P GSCI商品指数（円換算ベース）に連動するユーロドル債（証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 	
分配方針	決算日（原則として10月12日。但し休業日の場合は翌営業日）に経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAMコモディティパッシブ・ファンド」は、2011年10月12日に第3期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-506-860

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

DIAMアセットマネジメント

東京都千代田区丸の内3-3-1

(URL) <http://www.diam.co.jp>

DIAMコモディティパッシブ・ファンド

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P G S C I 商品指数		債券組入率	債券先物率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	(円換算ベース)	期 騰 落 率			
(設定日) 2009年1月30日	円 10,000	円 -	% -	ポイント (1月29日) 32,136.90	% -	% -	% -	百万円 -
1期(2009年10月13日)	12,105	0	21.1	37,763.59	17.5	99.9	-	197
2期(2010年10月12日)	11,603	0	△ 4.1	35,880.42	△ 5.0	99.6	-	381
3期(2011年10月12日)	11,201	0	△ 3.5	35,301.94	△ 1.6	99.6	-	585

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) S & P G S C I 商品指数 (円換算ベース) は、ザ・マグロウヒル・カンパニーズの所有する登録商標であり、当ファンドに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズ (以下「S & P」といいます。) は本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではありません。S & PはS & Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS & Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		S & P G S C I 商品指数		債券組入率	債券先物率
	騰落率	騰落率	(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2010年10月12日	円 11,603	% -	ポイント 35,880.42	% -	% 99.6	% -
10月末	11,399	△ 1.8	35,259.95	△ 1.7	99.6	-
11月末	12,065	4.0	37,385.54	4.2	99.7	-
12月末	12,581	8.4	38,968.52	8.6	99.8	-
2011年1月末	12,846	10.7	39,810.87	11.0	99.9	-
2月末	13,512	16.5	41,910.69	16.8	99.8	-
3月末	14,056	21.1	43,636.29	21.6	99.6	-
4月末	14,631	26.1	45,491.20	26.8	99.5	-
5月末	13,373	15.3	41,588.50	15.9	99.9	-
6月末	12,800	10.3	39,884.66	11.2	99.5	-
7月末	12,742	9.8	39,708.95	10.7	99.6	-
8月末	12,088	4.2	37,902.65	5.6	99.7	-
9月末	10,912	△ 6.0	34,249.52	△ 4.5	100.0	-
(期末) 2011年10月12日	円 11,201	% △ 3.5	ポイント 35,301.94	% △ 1.6	% 99.6	% -

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2010年10月13日から2011年10月12日まで）



期首	期中高値	期中安値	期末
2010. 10. 12	2011. 4. 11	2011. 10. 5	2011. 10. 12
11,603円	15,336円	10,322円	11,201円



債務危機の拡大懸念等を受けた投資家のリスク回避的な動きから、期末まで円高ドル安、円高ユーロ安の流れが続きました。決算日時点では1ドル=76円台後半となりました。

《投資環境》

当期のS&P G S C I 商品指数は、米ドルベースで見ると期の半ばにかけて大幅に上昇した後、下落に転じ、期を通じては上昇しました。S&P G S C I 商品指数の主構成要素である原油価格（WTI）は、FRB（米連邦準備理事会）による金融緩和政策を受け、投資家のリスク選好姿勢が大きく改善し、上昇して始まりました。その後、2010年末にかけても、石油製品の需要が強まったことや、世界的に株式市場が堅調に推移したこと等を受け、上昇基調が継続しました。2011年の年明け以降も米国等の景気回復が意識される中、エジプト等での政情不安を受けた原油供給への懸念等から更に上昇しました。その後も上昇基調は継続していましたが、5月以降は、ギリシャを始めとする欧州での財政問題が再燃したことや、米国での景気減速懸念が高まったことから大幅な下落に転じました。更に8月に入ると、欧州での財政問題の深刻化や世界的な景気減速の広がりが懸念される中、米国の格付会社が米国債の信用格付を史上初めて引き下げたことから、投資家心理が大きく悪化し、原油価格も急落しました。その後も、一時的な反発局面は見られたものの、投資家のリスク回避姿勢は継続し、軟調な展開となりました。決算日時点（現地10月11日）での原油価格は、1バレル=85ドル台半ばとなりました。為替市場では、主要通貨に対して円高となりました。欧米の金利先高感を受けて円が売られる局面もありましたが、5月以降は、世界的な景気減速懸念と欧州の

《運用経過》

当ファンドの主要投資対象はコモディティインデックス・マザーファンドであり、原則として組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。

基準価額の推移

当期末の基準価額は11,201円となり、前期末に比べ3.46%下落しました。

基準価額の騰落要因

[下落要因] 為替市場で、円高ドル安が進行したこと。

[上昇要因] 原油価格を中心に、商品相場が上昇したこと。

ベンチマークの推移

ベンチマークであるS&P GSCI商品指数（円換算ベース）は、1.61%下落しました。

ベンチマークとの差異およびその要因

当ファンドはベンチマークを1.85%下回りました。

この差は、マーケットが大きく動いた影響を受けて、マザーファンドで組入れているユーロドル債のパフォーマンスと、S&P GSCI商品指数の収益率に差が生じたためです。

収益分配金

当期の収益分配金につきましては、運用実績等を勘案して無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

《今後の運用方針》

引き続き、海外の代表的な商品指数であるS&P GSCI商品指数（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として、コモディティインデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

■ 1万円（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	87円 (80) (3) (4)
(b) 保 管 費 用 等	6
合 計	93

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。なお、保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 保管費用等には、監査報酬等が含まれております。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2010年10月13日から2011年10月12日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモディティインデックス・マザーファンド	千口 826,484	千円 516,100	千口 435,368	千円 285,710

■ 利害関係人との取引状況等（2010年10月13日から2011年10月12日まで）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
コモディティインデックス・マザーファンド	千口 679,377	千口 1,070,493	千円 584,596

(注) 親投資信託合計の受益権口数は1,394,934千口です。

<補足情報>

■コモディティインデックス・マザーファンドの組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	2011年10月12日現在							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 21	千米ドル 9,901	千円 759,576	% 99.7	% —	% —	% —	% 99.7
合 計	—	—	千円 759,576	99.7	—	—	—	99.7

(注1) 邦貨換算金額は、2011年10月12日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、2011年10月12日現在のマザーファンド純資産総額（761,748千円）に対する評価額の比率です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄 名	2011年10月12日現在						償還年月日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円		
GS Commodity Index Certificate 06/22/2012	普通社債券	—	21	9,901	759,576	2012/06/29	
小 計	—	—	21	9,901	759,576	—	
合 計	—	—	—	—	759,576	—	

■投資信託財産の構成

2011年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コモディティインデックス・マザーファンド	千円 584,596	% 99.2
コール・ローン等、その他	4,533	0.8
投資信託財産総額	589,129	100.0

(注1) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、コモディティインデックス・マザーファンドは2011年10月12日現在762,144千円、100.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2011年10月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=76.71円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	589,129,575円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,033,315
コモディティインデックス・マザーファンド(評価額)	584,596,260
未 収 入 金	500,000
(B) 負 債	3,754,068
未 払 解 約 金	1,954,146
未 払 信 託 報 酬	1,786,952
そ の 他 未 払 費 用	12,970
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	585,375,507
元 本	522,597,837
次 期 繰 越 損 益 金	62,777,670
(D) 受 益 権 総 口 数	522,597,837口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	11,201円

<注記事項>

期首元本額	329,175,340円
期中追加設定元本額	419,614,388円
期中一部解約元本額	226,191,891円

■損益の状況

当期 自2010年10月13日 至2011年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,085円
受 取 利 息	3,085
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 55,123,353
売 買 益	24,532,840
売 買 損	△ 79,656,193
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,398,437
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 58,518,705
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,527,471
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	126,823,846
(配 当 等 相 当 額)	(831,487)
(売 買 損 益 相 当 額)	(125,992,359)
(G) 計 (D+E+F)	62,777,670
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	62,777,670
追 加 信 託 差 損 益 金	126,823,846
(配 当 等 相 当 額)	(831,487)
(売 買 損 益 相 当 額)	(125,992,359)
分 配 準 備 積 立 金	27,216
繰 越 損 益 金	△ 64,073,392

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(62,750,454円)及び分配準備積立金(27,216円)より分配対象収益は62,777,670円(1万口当たり1,201.26円)ですが、分配を行っておりません。なお、分配金の計算過程においては、親投資信託の配当等収益及び収益調整金相当額を充当する方法によっております。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、運用実績等を勘案して無分配とさせていただきます。

コモディティインデックス・マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2011年1月20日）

（計算期間 2010年1月21日～2011年1月20日）

「コモディティインデックス・マザーファンド」は、「DIAMコモディティパッシブ・ファンド」が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当親投資信託の第4期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2007年2月28日から無期限です。
運用方針	主としてS&P GSCI商品指数（円換算ベース）（以下「GSCI」といいます。）に連動する投資成果を目指して運用を行います。
主要運用対象	GSCIに連動するユーロドル債（証券を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産の投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S&P GSCI商品指数		債券組入率	債券先物率	純資産総額
	円	期中騰落率	（円換算ベース）	期中騰落率			
（設定日） 2007年2月28日	10,000	—	ポイント （2月27日） 71,299.57	% —	% —	% —	百万円 —
1期(2008年1月21日)	11,523	15.2	77,309.50	8.4	99.9	—	1,600
2期(2009年1月20日)	5,027	△56.4	32,700.46	△57.7	99.9	—	1,268
3期(2010年1月20日)	6,178	22.9	39,820.70	21.8	99.9	—	1,785
4期(2011年1月20日)	6,240	1.0	39,850.89	0.1	99.7	—	1,394

（注1）設定日の基準価額は、設定当初の投資元本です。

（注2）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注3）S&P GSCI商品指数（円換算ベース）は、ザ・マグロウヒル・カンパニーズの所有する登録商標であり、当ファンドに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズ（以下「S&P」といいます。）は本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではありません。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		S & P G S C I 商品指数		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	%	(円換算ベース) 騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2010年 1 月 20 日	6,178	—	ポイント 39,820.70	% —	% 99.9	% —
1 月 末	5,702	△ 7.7	36,749.14	△ 7.7	100.0	—
2 月 末	5,841	△ 5.5	37,669.70	△ 5.4	99.8	—
3 月 末	6,255	1.2	40,364.47	1.4	99.9	—
4 月 末	6,470	4.7	41,809.41	5.0	99.7	—
5 月 末	5,505	△10.9	35,582.59	△10.6	99.7	—
6 月 末	5,336	△13.6	34,513.39	△13.3	99.6	—
7 月 末	5,509	△10.8	35,391.81	△11.1	99.6	—
8 月 末	5,278	△14.6	33,739.44	△15.3	99.7	—
9 月 末	5,488	△11.2	35,046.82	△12.0	99.6	—
10 月 末	5,522	△10.6	35,259.95	△11.5	99.6	—
11 月 末	5,848	△ 5.3	37,385.54	△ 6.1	99.7	—
12 月 末	6,102	△ 1.2	38,968.52	△ 2.1	99.8	—
(期 末) 2011年 1 月 20 日	6,240	1.0	39,850.89	0.1	99.7	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過 (2010年1月21日から2011年1月20日まで)

《投資環境》

当期のS & P G S C I 商品指数は、米ドルベースで見ると一時的に下落する局面も見られましたが、期を通じては上昇しました。S & P G S C I 商品指数の主な構成要素である原油価格(WTI)は、南欧諸国の財政悪化問題により対ユーロでのドル高が進む中、中国における金融引き締めや、米国政府による金融規制法案等が嫌気され下落して始まりました。その後は、米国において雇用や市場心理関連の経済指標が改善する中、企業業績の回復期待を受けて米国を中心に株式市場が大きく上昇したことから、投資家のリスク許容度が拡大し、原油価格も大きく反発しました。しかし2010年5月に入ると、ギリシャの財政問題が深刻化し、同問題が他の欧州諸



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2010. 1. 20	2010. 4. 6	2010. 8. 25	2011. 1. 20
6,178円	6,577円	5,103円	6,240円

〈S&P G S C I 商品指数 (円換算ベース) の推移〉



国へ波及するとの懸念が広がったことから、投資家のリスク回避姿勢が急激に強まり、原油価格も大幅に下落しました。その後も、米国の景気減速懸念の台頭や牽引役であった中国の経済成長が鈍化するとの懸念などから上値の重い展開が継続していましたが、10月以降は、米国において企業業績や景況感の改善が見られたこと、F R B (米連邦準備理事会) による追加の金融緩和策を好感し、上昇に転じました。決算日時点での原油価格は、1 バレル=90ドル台後半となりました。

一方、為替レートは、ドルに対して円高が進行しました。4月下旬までは米国を中心とした景気回復への期待から総じて円安ドル高となりましたが、5月以降は、欧州の財政問題の深刻化等から安全資産としての円が選好される展開となり、円高ドル安が進行しました。9月には、政府・日銀による円売り介入が実施されたものの、効果は限定的なものとなりました。決算日時点では1ドル=82円台前半となりました。

結局、S & P G S C I 商品指数は円換算ベースでは小幅に上昇しました。

《運用経過》

基準価額の推移

当期末の基準価額は6,240円となり、前期末に比べ1.00%上昇しました。

基準価額の騰落要因

[上昇要因] 原油価格を中心として、米ドルベースで商品指数が上昇したこと。

[下落要因] 為替市場で円高ドル安が進行したこと。

ベンチマークの推移

S & P G S C I 商品指数 (円換算ベース) は、0.08%の上昇となりました。

ベンチマークとの差異およびその要因

当期においては、ベンチマークにはほぼ連動した運用成果となりました。

《今後の運用方針》

当ファンドの運用の基本方針に基づき、S & P G S C I 商品指数 (円換算ベース) に連動するユーロドル債 (証書を含む) の高位組入れを維持します。

■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 保 管 費 用 等	2円
合 計	2

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 保管費用等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

■ 売買及び取引の状況（2010年1月21日から2011年1月20日まで）

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ア メ リ カ	社 債 券	千米ドル 19,050	千米ドル 23,989

(注) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

■ 主要な売買銘柄（2010年1月21日から2011年1月20日まで）

外国公社債

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
GS Commodity Index Certificate 07/01/2011		千円 1,217,435	GS Commodity Index Certificate 07/14/2010		千円 2,097,242
GS Commodity Index Certificate 07/14/2010		446,412	GS Commodity Index Certificate 07/01/2011		54,136

(注) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

■利害関係人との取引状況等（2010年1月21日から2011年1月20日まで）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 34	千米ドル 16,923	千円 1,390,458	% 99.7	% —	% —	% —	% 99.7
合 計	—	—	千円 1,390,458	99.7	—	—	—	99.7

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄 名	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) GS Commodity Index Certificate 07/01/2011	普通社債券	% —	千米ドル 34	千米ドル 16,923	千円 1,390,458	2011/07/11
小 計	—	—	34	16,923	1,390,458	—
合 計	—	—	—	—	1,390,458	—

■投資信託財産の構成

2011年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,390,458	% 99.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,210	0.4
投 資 信 託 財 産 総 額	1,395,668	100.0

(注1) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,394,895千円、99.9%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2011年1月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=82.16円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年1月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,396,490,286円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	5,206,005
公 社 債 (評価額)	1,390,458,291
未 収 入 金	825,990
(B) 負 債	1,921,500
未 払 金	821,500
未 払 解 約 金	1,100,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,394,568,786
元 本	2,235,044,793
次 期 繰 越 損 益 金	△ 840,476,007
(D) 受 益 権 総 口 数	2,235,044,793口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	6,240円

<注記事項>

※ 期首元本額	2,889,381,849円
期中追加設定元本額	1,156,098,174円
期中一部解約元本額	1,810,435,230円
※ 期末における元本の内訳	
D I A M コモディティパッシブ・ファンド	765,368,937円
D I A M グローバルβ私募ファンド (適格機関投資家向け)	335,593,321円
D I A M 為替フルヘッジ型グローバルアセット私募ファンド (適格機関投資家向け)	1,134,082,535円
期末元本合計	2,235,044,793円

■損益の状況

当期 自2010年1月21日 至2011年1月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,912円
受 取 利 息	2,912
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	73,537,179
売 買 益	306,305,310
売 買 損	△ 232,768,131
(C) そ の 他 費 用	△ 494,917
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	73,045,174
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,104,218,237
(F) 解 約 差 損 益 金	693,915,230
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 503,218,174
(H) 計 (D + E + F + G)	△ 840,476,007
次 期 繰 越 損 益 金	△ 840,476,007

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。